

脳外科医河村先生的情熱から生まれた水 株式会社 ヒロシバ

脳外科医である河村先生の研究により生み出された「ナノバブル水<水素>」。100万分の1ミリという極小サイズ(ナノ)の気泡(バブル)を含む水、その気泡の中には「水素」がギッシリと詰まっている。1mlに約3億6000万個超の泡を溶存させているという。あまりに現実味のない数字でピンとこないが、すごいこととはわかる?

なぜ、そんなに小さい小さい泡に水素を閉じ込めた水を作らないといけないのか。それは、水素がH₂の状態では水に安定して存在できないから。単純に水にH₂を入れても抜けてしまうということ。

河村先生は、水素を安定させるための研究を継続。しかし、アイデアはあるものの、実現する技術が見つからず、試行錯誤を繰り返していた。先生の研究は20年にも及んでいた。

河村先生とクリニック建設で縁ができた尼丁建設の尼丁社長((株)ヒロシバの専務を兼任)は先生から相談を受け、その強い思いに共感し、間違いのない水素水がつくれると確信、先生に協力して開発をスタート。協力して開発をはじめ5年と少しの年月が経ち、ようやく商品化の目途がつき、融資を受け製造プラントを建設するに至った。量産体制も整え、「ナノバブル水<水素>」の商品化が実現した。プラントが稼働するようになって半年。まだまだこれからである。

ナノバブルだから長期保存ができる水素水



純水に水素を泡に置き換えて溶存する装置



ペットボトルを85℃で1分間洗浄、消毒



ペットボトルに水素水を充填



自動キャップ検装置



シュリンカー

商品名が示しているように、「ナノバブル水<水素>」は一般的な「水素水」とは全く異なる。従来からある「水素水」は、電解還元水。水を電気分解してできるアルカリイオン水もそう。この状態の水素は「H⁺」で不安定、しかし「ナノバブル水<水素>」の水素は「H₂」、しかもナノサイズだから、安定して溶在している。

しかも他の水素水と比べて溶存期間が長いのが大きな特徴。ナノサイズのH₂を泡で包んだことで、さらに水の中で安定しているから。未開封であれば6ヶ月抜けにくい(プラント稼働後まだ半年しか経過していないから

6ヶ月以上は不明、恐らくもっと長く抜けにくいと思われる)。このことは、パーティクルセンサー測定(北斗電子工業(株))、ガスクロマトグラフ測定(大阪府立産業技術総合研究所)で証明、さらに、キャップを開けた状態でも27日間は水素が溶存していることも実証されている。

それでも水素を抜けにくくするこだわりを反映しているのが「容器」と「ラベル」。「ナノバブル水<水素>」は、85℃で1分間の消毒を行っている。製品化前に容器を検討している段階で、85℃の温度に耐えられるペットボトルはあまり流通していないことがわかった。かといって消毒は不可欠な条件、外すわけにはいかない。完璧に安全で衛生的な状態で提供するためには、高温で洗浄と消毒ができるペットボトルでなければいけなかった。しかも水素が抜けにくいものでないといけない。そうしてたどり着いたのが今のペットボトル。そのペットボトルを覆うラベルにもこだわりがある。紫外線に弱い水素の放出を最小限に抑えるためUVカット仕様になっている。河村先生の熱意と、その思いに共感したヒロシバが、まさに二人三脚で作り上げた製品、それが「ナノバブル水<水素>」である。



水素サプリメント
ナノバブル水

成人の身体の約60~70%は水分、1日1.5Lの水補給が理想

水をあまり摂らない方がいるが、若いときはいざ知らず、加齢とともに体は脱水しやすくなっていくから水を摂ることはたいせつ。成人の身体の約60~70%は水分と言われているが高齢になるに従い50%台まで低下する可能性があるそうだ。ヒロシバでは、朝起きたとき、運動・入浴の前後、就寝前に、できれば、1日1.5リットルの常温の水を摂ることを薦めている。それも「ナノバブル水<水素>」で!

ホテル阪急エキスポパークのフィットネスクラブにて利用者におすすめの飲料として販売されたり、サッカー協会でも練習や試合の際の飲料に採用されているのも頷ける。モニターの声でも、結構評判がいいとのこと。

世の中にはたくさん水素水の商品が販売されているが、水素をナノレベルにして水に溶存させる技術は他にはない。しかも製造をはじめて半年、まだまだ知られていない商品。それだけに「早く多くの人に知ってもらって、「ナノバブル水<水素>」良さを体験してほしい。飲んでみないとわかりませんから」と自信たっぷりに話された。



ホテル阪急エキスポパーク
のフィットネスクラブ

株式会社 ヒロシバ

代表取締役 芝池 保須子
専務取締役 田中 雅彦

本社:〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻16-8-202
TEL: 06-6775-0663
製造プラント:〒583-0883 大阪府羽曳野市向野1丁目10-10
TEL: 072-959-3317
<http://suisono-chikara.co.jp>



【事業概要】ナノバブル水<水素> 製造・販売企画、運営。